

清里で学ぶ。自分が、世界が見えてくる。

地元へ根差し、未来と世界につながる多彩な授業や行事が、あなたの視野を広げます。

総合的な探究の時間
清里探究

地元の人々と、「清里町を1mmでも動かせ！」
地域課題の解決への道と一緒に見つけていく。
進学・就職…進路選びの強い味方にもなる、
清里高校の新たな顔となるカリキュラム。

こんなことが
身につけられる！

- ★課題解決に必要な知識・技能、思考・判断・表現を通して、清里町の課題を自分事として捉え主体的に参画できる！
- ★大学入試で増えている総合型選抜にも役に立つ！

3年間の流れ

3年生

探究成果報告会
(11月)

2年生

中間報告会
(2月)

1年生

前期 後期
探究基礎 ゼミ形式
中間報告会(2月)

解決する
考える
知る

1 探究の基礎を学ぶ
課題・仮説を立て、情報を集め、検証して得た結果を発表する。



人口減少や社会構造の変化の中で、「地方創生」が大きな課題となっています。本校は、北海道教育委員会の「北海道MA+CHプロジェクト(地学協働まちづくり推進事業)」のオアーツ管区内唯一の指定校です。地域の未来を担う社会人の育成を目指した「地域と学校の協働」の一環として、総合的な探究の時間を「清里探究」と名付け、校内外の方々と連携・協力をいたいて取り組んでいます。

2 清里町の課題で実践する
ゼミ方式で地域の方々と一緒に町の課題に向き合う。

企業・事業所、商工会、保健・教育委員会、農協、観光協会、地域公民館、地産地消推進委員会、地域の方々と一緒に実践していきます。



国際理解

変わる世界を、より深く知るために。
充実した環境で英語を学び、コミュニケーションの力を伸ばそう。

●充実した英語教育環境



社会的なニーズを考慮して、カリキュラムでは英語科目が充実。清里町からのALT2名派遣、検定料補助など、英語教育に重点を置いています。

●海外姉妹校との交流



姉妹校「モトエカハイスクール」(ニュージーランド)と、海外研修や交換留学制度、オンライン等で交流を行っています。語学力とともに、進路意識のアップグレードも可能です。

地域連携

みんなで作り上げるという経験。
仲間と、地域とつながりながら、
共に成長するきっかけがここにある。

●地域施設で行う学校祭

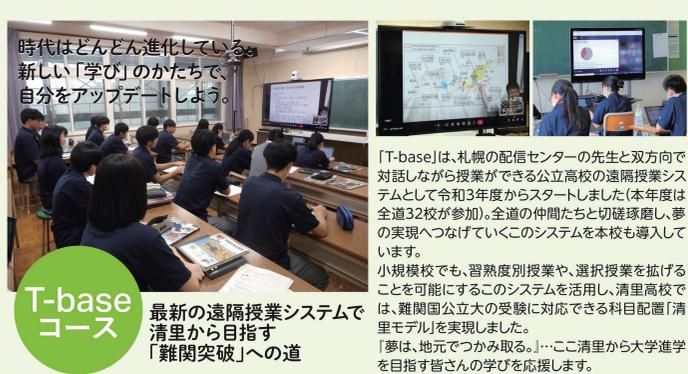


地域貢献と日頃の感謝を込め、学校を飛び出して地域施設を会場に学校祭を行っています。地域の人と交流することで、コミュニケーション能力アップを図っています。

●授業で企画する学校行事



スポーツフェスティバル、企画演奏会、地元食材のレシピ開発等、学校行事を自分たちが企画・運営することで、先見性、協調性、思考力、判断力等の能力を育成しています。



T-base
コース

最新の遠隔授業システムで
清里から目指す
「難関突破」への道

時代はどんどん進化している。
新しい「学び」のかたちで、
自分をアップデートしよう。

「T-base」は、札幌の配信センターの先生と双方向で対話しながら授業がでる公立高校の遠隔授業システムとして令和3年度からスタートしました(本年度は全道32校が参加)。全道の仲間たちと切磋琢磨し、夢の実現へつなげていくこのシステムを本校も導入しています。
小規模校でも、習熟度別授業や、選択授業を拡げることが可能にするこのシステムを活用し、清里高校では、難関国公立大の受験に対応できる科目配置「清里モデル」を実現しました。
「夢は、地元でつかみ取る。」…ここ清里から大学進学を目指す皆さんの学びを応援します。



ユネスコ
スクール型
体験
授業

百聞は一見にしかず。
体験して 実感して
見えるものがある。

オンリーワンの自然環境
世界遺産が学びのフィールド

ユネスコ(国連教育科学文化機関)の理念に基づき、地球規模の諸問題に若者が対処できるような新しい教育を目指す学校のネットワーク「ユネスコスクール」に加盟しています。
ここでご紹介するのは、本校の掲げる「国際理解」「地域連携」に沿った体験授業。私たちの身近にある世界遺産・知床を知る授業や、左ページでも掲載している海外との交流、学校行事もその一つ。これらの体験が、皆さんの進路や生き方にも、きっと大きなヒントをくれるはずです。



【写真上から】

- 知床自然体験
- 知床ウォーク
- 札幌近郊学校・企業見学会
- インターンシップ



清里町からの支援も充実! 皆さんの高校生活を、清里町も応援しています!

- 部活動支援事業
- 進学支援補助事業
- 進路選択支援事業
- 学校給食提供事業
- 国際理解教育推進事業
- 清里町中・高校生海外派遣研修事業

*次年度の予算等が未確定の部分があるため、変更になる可能性があります。